

2・種類別明細書（増加資産・全資産用）

- ◎ 前年度までに申告していただいた資産は、資産の種類ごとの取得年月日順に印字されていますので、下の記載例にならって、前年中に異動があった資産を手書きで加除修正してください。
- ◎ 今回初めて申告される方、電算により全資産申告される方は、全償却資産を記載してください。
令和7年1月1日現在に所有しているすべての資産を下に記載例（「③資産が増加した場合」の例）にならって手書きで記載してください。

<取得年月>
 該当資産の取得した年月を記載してください。
 年号欄 3=昭和 4=平成 5=令和

<記載にあたって>
 該当資産の名称、規格等を下記のとおり記載してください。
 (a) 資産の種類順に記載してください。
 (b) 漢字、カタカナ、アルファベット、数字で記載してください。
 (c) 名称が同じものが続く場合でも、「同上」「//」などの記載ではなく、それぞれの名称を記載してください。
 (d) 耐用年数、取得年月、数量の記載漏れに注意してください。

<所有者コード>
 今回初めて申告される方は記載しないでください。

<資産の種類>
 該当資産の種類を数字で記載してください。それぞれの種類に対応する数字は下記のとおりです。
 1=構築物
 2=機械及び装置
 3=船舶
 4=航空機
 5=車両及び運搬具
 6=工具・器具・備品
 ※償却資産申告の手引きの3を参照して下さい。

<資産コード>
 記載する必要はありません。

令和7年度		種類別明細書（増加資産・全資産用）										所有者氏名		2枚のうち					
所有者コード		東浦太郎										1枚目							
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価格				耐用年数	減価償却率	価額	課税標準の特例コード	課税標準額	増加事由	摘要	
					年号	年	月	千円	万円	円	千円								万円
1	1		チウウシヤジヨウホソウ	1	4	1	5	1	2	4	358	000	1	0	0			1.2 3.4	
2	4		自転車置場	1	4	1	7	1	2	3	250	000	7	0	0			1.2 3.4	R6. 2除却
3	2		カンパン	1	4	0	9	1	1	479	000	2	0	0				1.2 3.4	
4	2		レイトウコ	1	4	0	9	1	1	573	000	1	5	0				1.2 3.4	
5	5		フォークリフト	1	4	0	8	0	4	1	540	000	4	0	0			1.2 3.4	
6	6		パイプセツタンキ	26 30	4	1	7	1	2	600 679	000 000	6	0	0				1.2 3.4	R6. 3一部廃棄による修正 耐用年数改正による修正
7	2		食料品製造業用設備	1	5	2	0	2		150	000	1	0	0				1.2 3.4	
8	6		パソコン	1	5	2	0	4		175	000	4	0	0				1.2 3.4	〇〇工場より R6. 4移設
9	6		コピー機	1	5	2	0	4		963	000	5	0	0				1.2 3.4	
10																		1.2 3.4	
11																		1.2 3.4	
12																		1.2 3.4	
13																		1.2 3.4	
14																		1.2 3.4	
15																		1.2 3.4	
16																		1.2 3.4	
17																		1.2 3.4	
18																		1.2 3.4	
小計				33 35							608	238	000					1.2 3.4	
											690	150	000						

<所有者氏名>
 所有者名を記載してください。
 2枚のうち、1枚目というようにページ数を記載してください。
 第二十六号様式別表

<増加事由>
 該当資産の増加事由を〇で囲んでください。それぞれの事由に対応する数字は次のとおりです。
 1=新品
 2=中古取得
 3=移動による受け入れ
 (摘要欄に受け入れ元を記載してください)
 4=その他
 (摘要欄に理由を具体的に記載してください)
 (例 前年度申告もれ)

① 資産が減少した場合
 明細書に印字されている該当の資産を二重線で抹消してください。

② 資産の項目を修正する場合
 明細書に印字されている該当の資産の修正すべき箇所を二重線で抹消し、その上に修正後のデータを記載してください。

印字されている一行の資産の一部が減少した場合は、数量と取得価格を二重線で抹消し、残った数量と取得価格をその上に記載してください。

③ 資産が増加した場合
 明細書の余白に、記載例にならって記載してください。
 該当資産に適用する耐用年数を耐用年数表「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に基づいて記載してください。

<取得価格>
 該当資産の取得価額を右詰めで記載してください。

<小計欄>
 小計を記載してください。

<摘要欄>
 該当する資産について、次のような事項を記載してください。
 (1) 資産が減少した場合は、その年月と理由
 (例 R6. 2 除却)
 (2) 課税標準の特例、及び非課税該当資産については、その適用条項
 (例 法附則第15条第4項)
 (3) 耐用年数の変更があった場合は、その旨を記入
 (例 耐用年数改正)
 (4) 増加償却を行っている場合は、その旨を記載
 ※「増加償却届出書」の写しを添付してください。
 (5) ナンバープレートの交付を受けている大型特殊自動車については、そのナンバープレートの番号

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受け入れ、4 その他のいずれかに〇印を付けてください。